

設 問	合 計	割 合
Q1.本事業を始めたきっかけは何ですか？		
1 知人・友人に誘われて	47	45.6%
2 広報を見て	4	3.9%
3 ボランティア募集のちらしを見て	11	10.7%
4 ホームページを見て	2	1.9%
5 子どもが教室に参加しているから	11	10.7%
6 所属団体から依頼された	22	21.4%
7 その他	6	5.8%
Q2. 毎月の参加回数は適正ですか？		
1 無理なく続けられる	92	91.1%
2 無理がある	5	5.0%
月（1）回ならば無理なく続けられる	1	1.0%
月（2）回ならば無理なく続けられる	3	3.0%
Q3. やりがいは感じられますか？		
1 感じられる (子どもたちが寄ってきてくれた時、いきいきと嬉しそうに顔をしてくれた時、相談を受けた時、近所で挨拶された時、楽しそうにしている時)	91	98.9%
2 感じられない	1	1.1%
Q4. 指導員やボランティアを増やすためには、どのようなことをすればよいと思いますか。また、保護者の参加協力を増やすためには、どのようなことをすればよいと思いますか。		
<ul style="list-style-type: none"> ・もっと多くの人に、公開して実際見てもらって知ってもらう ・ホームページや広報などの活用 ・交代で保護者にボランティアをしてもらうのは効果的 ・息の長い取り組みが必要 ・定年退職後の人たちに働きかける ・金銭面での支援が必要 		
Q5. 指導員ではなく、コーディネーターとして活動しようと思いますか？		
1 思う	7	8.0%
2 思わない	74	84.1%
3 その他	7	8.0%
Q6. 子どもや保護者と接していて、驚いたことや嫌な思いをしたことがありますか？		
1 ある	43	48.3%
2 ない	46	51.7%
Q7. 自分の地域の子どもに対する意識や関心は高くなりましたか？		
1 高くなった	69	76.7%
2 変わらない	20	22.2%
3 低くなった	1	1.1%
Q8. 学校外で子どもから声を掛けられたりすることが増えましたか？		
1 増えた	65	69.9%
2 変わらない	27	29.0%
3 減った	1	1.1%
Q9. 子ども達に変化はみられましたか？		
1 変化があった (話をしてくれるようになった 役割意識をもって行動するようになった)	56	66.7%
2 変わらない	28	33.3%
Q10.指導員研修でどのような内容を取り上げてほしいですか？		
1 発達障がいについて	15	10.6%
2 レクリエーションについて	51	35.9%
3 工作について	20	14.1%
4 PC操作について	7	4.9%
5 救急救命について	13	9.2%
6 安全管理について	33	23.2%
7 その他	3	2.1%
Q11. 今後もボランティアを続けていこうと思いますか？		
1 思う	82	93.2%
2 思わない	6	6.8%
Q12. 継続して活動するためには、どのような支援が必要だと思えますか？		
<ul style="list-style-type: none"> ・指導員、ボランティアの安定した人数の確保 ・多くの保護者が参加すること。指導員は人数が足りて助かり、保護者は教室・子どもの様子がわかり、お互いにメリットがある。 ・場所&備品、消耗品の継続的な支援 ・他教室の活動内容の情報提供 ・学童のように専用の教室があると管理と準備がしやすい。 ・個人のよびかけだけでは限界がある。 ・仕事もしているので、これ以上ボランティアに割く時間がない。 ・学校の理解・協力 ・他校のスタッフとの交流や励まし ・多少の謝礼は必要 ・公共的に活動を盛んにしてほしい。市として盛り上げてほしい。 ・収入源を大きくしてほしい。 		
Q13. 本事業に取り組んでみて、どんな感想を持ちましたか？その他、ご意見・ご要望等ございましたらお書きください		
<ul style="list-style-type: none"> ・最初は難しく、1ヶ月で辞めるつもりだったが、子供たちのビュアなところを大切にしたいと思い、参加している。 ・正直、家事が後回しになるのがつらい時もある。 ・顔見知りが増えた。 ・現在の子どもの様子が分かり、大人として導き育てることができた。 ・ボランティアの年代が違い、色々な話がきけて勉強になる。 ・市内にもっと増やすつもりでしたら、この事業専門に責任もって常時携わる方が欲しい。各教室の問題解決にも幸を成すと思う。 ・今の子どもたちの様子を知ることができ、勉強になる。 ・他教室の取り組みも学校の先生方に知ってもらえると、新たな活動にチャレンジしやすいと思う。 ・子どもの手本になれるよう、自分の行動も見直すことができた。 ・我が子以外でも教室以外で声をかけられるようになった。 ・活動中のルールが徹底されていない、その場しのぎの対応になっており、困ったことが多かった。開始前にミーティングがほしい。 		
年齢		
10代	2	2.2%
20代	1	1.1%
30代	12	13.5%
40代	33	37.1%
50代	18	20.2%
60代	17	19.1%
70代以上	6	6.7%
性別		
女	82	92.1%
男	7	7.9%